

平成24年度補正予算案(防衛省所管)の概要

防衛省計上額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 約2,124億円
(約3,251億円)

※ 数値は歳出ベース。()内は契約ベース

【1】 緊急経済対策によるもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 約1,805億円
(約2,931億円)

(1) 部隊等の通信機能強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 約503億円
(約848億円)

東日本大震災時に、各部隊の通信システムが新旧異種であることにより、円滑な情報通信に制約が生じたことも踏まえ、各種事態への対応において、自衛隊部隊等が迅速かつ的確に情報の伝達・共有を行い得るよう、各種通信システム等を整備

○ 野外通信システムの整備[12式]

※ 全国の陸上自衛隊師団・旅団等に装備し、
部隊間のデータ通信を可能とする等の能力向上



(2) 各種事態への対処拠点となる駐屯地・基地等の整備
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 約168億円
(約168億円)

大規模災害等の各種事態へ対応するに当たり、全国から部隊を集結させる際の活動拠点、活動に従事した隊員のケアや必要な物資等の集積・補給を行う拠点となる、全国の駐屯地・基地等の機能を維持・強化

○ 駐屯地・基地の耐震化・津波対策

(耐震調査・設計・津波シミュレーション等)

○ 防衛医大病院の医療機器(画像診断装置等)の充実強化

(3) 輸送・偵察機能や隊員の活動を支える装備品等の更新・近代化
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 約429億円
(約600億円)

大規模災害等の各種事態発生時に、被災者の救出・救助や物資輸送、現地状況の偵察、生活支援等の活動を長期にわたり実施するために必要な各種装備品や資機材を整備

○ 輸送ヘリコプター(CH-47JA)[1機]、救難ヘリコプター(UH-60J)[2機]、掃海・輸送ヘリコプター(MCH-101)[2機]等の整備

○ 装輪車両(各種トラック、オートバイ等)の整備

○ 災害派遣用個人装備品(災害派遣用被服等)の整備

○ 営内隊員用備品(洗濯機、アイロン等)の整備



CH-47JA

(4) 変化する安全保障環境への適応…………… 約605億円
(約1,215億円)

北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイルの発射や、周辺国による我が国周辺の海空域における活動の活発化等、我が国周辺の安全保障環境が厳しさを増していることを踏まえ、弾道ミサイル防衛や周辺海空域の警戒監視・安全確保に資する各種装備品を整備

[弾道ミサイル防衛]

- PAC-3ミサイルの取得
- ペトリオット・システムのバージョンアップ[2式]



ペトリオット・システム

[海空域の警戒監視・安全確保]

- 哨戒ヘリコプター(SH-60K)[3機]の整備
- 戦闘機(F-15)近代化改修[4機]
- O3式中距離地对空誘導弾(中SAM)の整備[1個中隊]



SH-60K



F-15の近代化改修



中SAMの整備

(5) 地域活性化…………… 約100億円
(約100億円)

飛行場等の周辺の航空機等の音がうるさい地域の住民の生活環境を改善。
また、地元業者の受注拡大が見込まれ、地域経済の活性化、中小企業対策に貢献

- 住宅防音工事の助成

【2】 その他…………… 約320億円
(約320億円)

自衛隊の活動に必要な燃料費、南スーダンPKOへの派遣に係る経費、海賊対処活動に係る経費等